

授業科目 評価学演習II

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
古西 勇		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	60 (基本評価B:20)
【概要・一般目標:G10】 専門基礎分野と2年次前期の専門分野で修得したことを基礎として、各種検査測定法の応用力を高め、理学療法の領域(骨関節疾患や中枢神経障害、神経筋障害など)を想定した検査測定評価の「思考」と「技術」を練り上げる。					
【学習目標・行動目標:SB0】 1. 関節可動域測定と徒手筋力検査の応用を模倣する。 2. 代表的な領域(骨関節疾患や中枢神経障害、神経筋疾患など)を想定して専門用語に慣れる。 3. 必要な情報や検査測定項目を列挙し、その実施計画を立て、それを実施するまでの検査測定評価の流れを模倣する。 4. 学生間で学びあいながら自主的、計画的に共同作業に取り組む。 5. 臨床で行う記録と症例研究の考察を模倣する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	関節可動域測定と徒手筋力検査の応用			1,4	小テスト・演習、担当:古西 勇
2	"			1,4	小テスト・演習、担当:古西 勇
3	"			1,4	小テスト・演習、担当:古西 勇
4	各種検査測定法と骨関節疾患			1~4	演習(グループ)、担当:古西 勇
5	"			1~4	演習(グループ)、担当:古西 勇
6	各種検査測定法と中枢神経障害			1~4	演習(グループ)、担当:古西 勇
7	"			1~4	演習(グループ)、担当:古西 勇
8	各種検査測定法と神経筋疾患			1~4	演習(グループ)、担当:古西 勇
9	"			1~4	演習(グループ)、担当:古西 勇
10	臨床で行う記録と症例研究の考察、まとめ			4,5	演習(グループ)、担当:古西 勇
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		診察と手技がみえるvol.1 第2版 新・徒手筋力検査法 第8版 (もう1冊、後日指定)	編集 古谷伸之 Hislop HJ 他	メディックメディア 協同医書出版社	2007・6,300円 2008・7,875円
参考書		ベッドサイド神経の診かた第16版 理学療法評価学 第2版	田崎義昭 松澤正	南山堂 金原出版	2004・7,560円 2004・6,510円
その他の資料					
【評価方法】 出席, 小テスト(3回), 毎回の提出物, 実技 試験, 定期試験(筆記), その他			【履修上の留意点】		